

豊中の未来を描こう！！

発行 2022年12月

VOL. 194

火の元にご注意ください。

かんばんこういちろう

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



豊中市議会議員
無所属

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ



12月定例会、個人質問予定



① エデュテイメントについて

～子どもたちが興味や関心をもつ授業づくりを！！～

『エデュテイメント』とは、エデュケーション（教育）とエンターテイメント（娯楽）からなる造語で、「楽しみながら学ぶことで自主的に知識を身につけていく」という意味で用いられています。

Q1. 教育現場にエデュテイメントの要素である、いつの間にか学んでいたという環境を作り出す意義や効果、重要性や必要性について教育委員会の見解は？

Q2. 小中学校で一人一台タブレットが整備されたり、プログラミングが小学校の授業に導入されたこともあり、エデュテイメントを意識し、ゲームを教育に活用する小中学校が出てきているが、本市の見解は？

Q3. 株式会社コナミデジタルエンタテインメントは、ブラウザ版『桃太郎電鉄 教育版』を制作し、2023年から無償で学校教育機関への提供を始めると発表した。本市はコナミ創業の地でもあり、無償で提供されることから、本市の小中学校でも活用してみてもどうか？

② 子ども用補助便座について

～誰もが快適にトイレを使えるように！！～

Q1. 幼児等も使用する機会の多い公共施設や公園のトイレには、どの程度、子ども用補助便座や子ども用トイレが設置されているのか？子どももできる限り、一人で用を足せる環境を整えるため、補助便座の設置を進めるべきではないか？

Q2. 子ども用補助便座を設置している施設や公園などを市ホームページ等で公表、周知してはどうか？

③ 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザへの対策について

～同時流行を想定して、未然にできる対策を！！～

Q1. 今冬の新型コロナウイルスの拡大や季節性インフルエンザの流行具合をどのように想定しているか？

Q2. 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザでは、発熱などの症状が出る可能性に差があるのか？

Q3. 季節性インフルエンザが流行すると、発熱などの症状が出る方が大幅に増える可能性があるが、新型コロナウイルスの重症化リスクが低い世代が発熱等の症状が出た場合、どのような対応や行動をとればよいのか？



皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。
メールアドレス：young_spiritjp@yahoo.co.jp





総務常任委員会視察報告



商店街主導による地域の活性化

～高松丸亀町商店街～

♠ 課題① 止まらない人口流出・人口分散 ♠

バブルにより商店街を含む中心市街地の地下の高騰で、郊外への人口流出・人口分散が進む

♠ 課題② 立場や価値観の違いを打破できず衰退 ♠

困難な商店街地権者の意見集約、商店街振興組合と近隣自治会との利害対立、行政の規制や抵抗などで、何の改善策も講じることが出来ず、シャッター通りへと衰退

♣ 打開策 土地の所有権と利用権の分離 ♣

①地権者の出資で作ったまちづくり会社が全ての商店の地権者と60年の定期借地権契約を締結

②同社が①の利用権を取得し、建物を整備し所有

③テナントの家賃収入から地権者に地代を支払う

👉 ニコポイント!!

地代をテナントの家賃収入から支払う形にすることで、地権者はテナントの売上に関心を持たざるを得なくなり、街の活性化に関与せざるを得なくなる。一方、利用権をまちづくり会社が持つことで、利害調整に手間取ることなく思うような再開発やまちづくりを行うことができる。

まとめ まちの活性化には強い自治意識が不可欠

自分達の街を全て行政に任せてしまわず、自らリスクを負い自治権を持って運営していくという新しい自治組織の形は非常に斬新であった。

地元に対する熱意と危機意識溢れるコミュニティの存在こそが、地域の活性化には不可欠であることを痛感した。

ローカルスタートアップで

社会課題を解決

～香川県三豊市 瀬戸内 works 株式会社～

? スタートアップ企業とは ?

一般的に、大きな成長を継続でき、新たな価値を創造する力を持つ企業のこと

♠ 課題① 止まらない人口減少・若者流出 ♠

地場産業の衰退、地元プライドの低下により、人口減少に歯止めがかからず、特に若年層が流出

♠ 課題② 極度のリーダー不足 ♠

リーダー不足で、まちづくりや地域活動が停滞

♣ 打開策 新たな形の観光事業を実施 ♣

①「暮らし」、「仕事」、「コミュニティ」をキーワードに、新たな形の観光事業を立ち上げ

②100万人が1回訪れるのではなく、10万人が10回訪れる街にすることを目標に、観光客と地元民の関係性を創造するスタイルの観光ビジネスを展開

③同じ思いをもった市内外の事業者が集まり、自分たちが楽しみながら、自分たちがやってみたいこと、欲しいものを創造中

まとめ 民間の柔軟性・スピード感が魅力

豊中市でも地域創生塾や起業・チャレンジセンターなどの事業や取組みがあるが、どうしても行政の型にはまった取組みになりがちで、今回、学んだローカルスタートアップは、柔軟性、スピード感をもった民間だからこそ、成しえるものだと強く感じた。

インフォメーション

豊中市議会 12月定例会の予定

◆本会議(初日) 11月29日(火) 午後1時から

◆各常任委員会 午前10時から

12月2日(金)、5日(月)、7日(水)、12日(月)

◆本会議(個人質問) 午前10時(23日のみ午前11時)から
12月21日(水)、22日(木)、23日(金) 神原個人質問予定

※変更する場合もございますので、議会事務局まで
ご確認下さい。(議会事務局議事課: TEL: 06-6858-2633)

各常任委員会・個人質問共にインターネット中継配信中!!

http://toyonaka.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp

発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル2階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

<http://positive-square.sakura.ne.jp/>

Facebook 活用しています!!

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

